

へばだば

66

編集・発行：自立生活センターPingあおもり・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel. fax：017-761-2770/e-mail：ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者／佐藤 広則

「へばだば」=津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

バリアフリー調査 — 青森市議会議場 —

白戸 駿平

青森市営バスの車いす乗車拒否問題が全国ニュースになり、市議会で議員さんが一般質問をするというので、傍聴をしに行こうと思い、議会事務局に電話で確認すると、職員が車いすを人力で担ぎ上げるか、モニター傍聴になるとのことだった。結局電動車いすでの傍聴は不可能に近いといった結論である。

議会棟は今年で築46年で3年前に耐震化改修を実施した。ちなみに、この改修を行ってからの3年間で車いすに乗った傍聴者はゼロ。

青森市役所本庁舎は新築工事の最中。以前、市役所ホームページで新本庁舎の設計図を見て、新本庁舎と議会棟の間に渡り廊下が建設され、そこにエレベーターが設置されるのを思い出した。「そのエレベーターは、議会を傍聴するときには利用できないですか？」と聞いたら、移動経路は短くなるものの、車いすでは傍聴席に入れないことには変わりはないと言われた。

同じことを知り合いの市議会議員にも聞くと、「議会棟の全階段にスロープの設置も検討したけど、構造の問題で駄目だった」といった回答が返ってきたため、

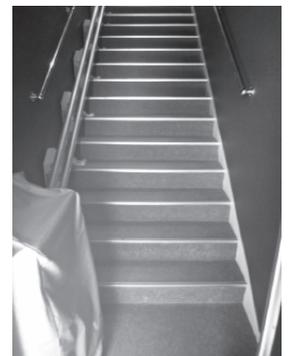
10月1日にその市議や議会事務局職員等立会いの下、自分の目で確かめることにした。当日は、人力で電動車いすを担ぎ上げてもらい、傍聴席と議場に入った。

まず、議会棟の2階から4階に上がる階段に設置されていた階段昇降機。階段の幅は、124センチ。車いす用のものではなく、完全に高齢者用のいす型のものであった。

来年の1月に新本庁舎の供用が開始されて、3階までエレベーター付きの連絡通路で行ける。議場がある4階に上がる階段に、青森駅に設置されているような車いす対応型の階段昇降機を1つだけでも設置できれば、大きく議会棟内部へのアクセスが改善すると思う。

議場がある4階は、フロア全体が穏やかな勾配になっていた。その部分だけバリアフリーになっていても、傍聴席に電動車いすで入れなければ意味がない。傍聴席に入る扉を開けると狭い階段があり、高齢者用の階段昇降機が設置されている。車いす用の階段昇降機は設置できない幅だと思われる。階段をそのままスロープにすると勾配が急になるので、スロープを長くし、L字型にする（廊下側に張り出す形でスロープを設置する）方法が最適なのではないかと提案した。

後日、市の職員が調査をする予定だそうだ。



傍聴席までの狭い階段

66号もくじ

バリアフリー調査 — 青森市議会議場 —	1	2019 しんまちふれあい広場報告	4
全国障害者スポーツ大会ガイド	2	職員研修報告	4
ピア・カウンセリング長期講座に参加して	2	助成金の御礼・マックスバリュ様	4
八重山諸島 電動車いす離島めぐりの旅	3	お知らせ・忘年会	4
ねぶたの時期の青森を味わおう!!	3	編集後記	4

全国障害者スポーツ大会ガイド

2025年に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会青森大会に向けて
今回から様々な情報をご紹介します。

柿崎 長潤

スラローム(陸上競技)

スラロームは、全国障害者スポーツ大会でのみ行われている陸上競技です。手動車椅子と電動車椅子はカテゴリーで分かれて走行タイムをきそいます。

ちなみに、柿崎は全国障害者スポーツ大会青森大会で優勝を狙っています！

コースは、走路の幅は130cm、距離は30mで、旗門の間隔は全て2mです。ルールは、白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進で通過してください。

スタートから6m地点と、18m地点のコースの真ん中にある旗門は、左右どちらから進入してもかまいませんが、1本目の旗門を右回りで1周した場合、2本目の旗門を左回りで1周して通過してください。(1本目を左回りした場合は2本目は右回り)

旗門を倒した場合、1本につき5秒加算されます。ただし、一度触れた旗門を再び触れても5秒以上の加算はありません。通過の方法を間違えたままゴールした場合は失格になりますが、ゴールするまでならば、間違えた場所まで戻ってやり直す事ができます。

ただし、戻る際に競争相手の妨害をした場合は失格になりますので注意してください。

ボッチャ

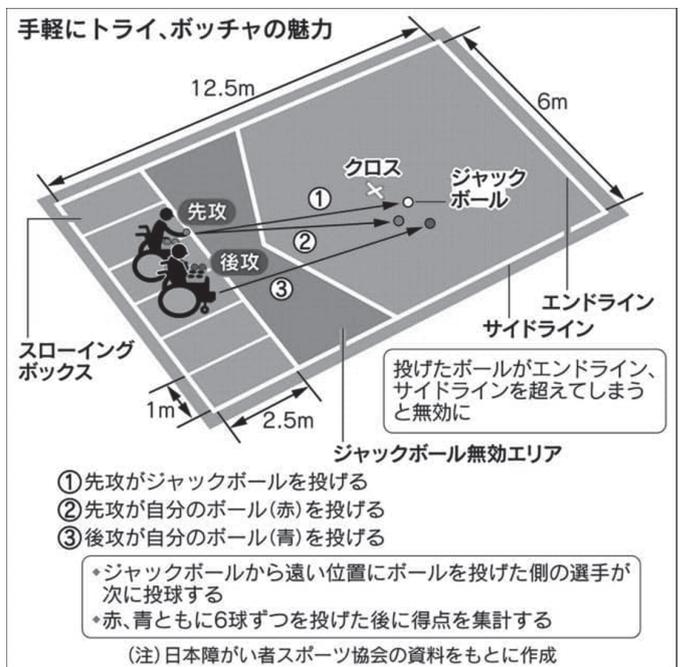
ボッチャは、カーリングに似ていて、パラリンピックの競技になっています。

また、2021年からは全国障害者スポーツ大会の競技になる予定です。

ルールは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

障害によりボールを投げることができなくても、勾配具(ランプ)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。

競技は男女の区別のないクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦(2対2のペア戦と3対3のチーム戦)があります。



ピア・カウンセリング長期講座に参加して

今回、9月1日から3日まで国立市にある東京都多摩障害者スポーツセンターで開催されたピア・カウンセリング長期講座(前期)に参加した。

今回参加したのは、6名。講師の方が4名いただきました。最初は、右も左もわからない土地に行き、知らない人と話をすることに対して、ただただ恐怖と緊張、それしかなかった。でも、徐々にいろんな人と話をしていくうちに自然と恐怖と緊張はなくなっていた。2日目からは、面白いと感じた。3日目過ぎる頃には、またこの仲間とピア・カウンセリングができると感じ、11月の後期も楽しみになった。

参加した感想としては、頭を使って考えないとクライ

アントの伝えたいことや言いたいことを聞き出せないなと感じた。

ここまで、人の話を真剣に、頭をフル回転させて聞いた事はなかった。

そして、自分のことも自由に止めどなく赤裸々に話した事が無いように感じた。それと、いろんな人のいろんな人生があるなとも感じた。

ピア・カウンセリングを、これからももっと学んでみたいと感じた。

(白戸 駿平)



八重山諸島 電動車いすとちょっとだけ離島めぐりの旅

- ① 飛行機は別の車いすに乗り換えなければいけないからなるべく乗りたくない
- ② エアマット付きの3モーターベッドでないと寝返りができないし身体が痛くなる
- ③ 食べ物にはあまり興味はない
- ④ そもそも観光は特に好きではない

夫が県外に行きたくない理由は他にもいろいろあるものの、7月の中旬に2人で沖縄に行くことにした。沖縄と言っても本島ではなく、日本の西のはずれの少し手前、石垣島に3泊4日に出掛けてきた。

羽田から3時間、石垣空港に着いたのは夕方の5時過ぎ。外に出たとたん息苦しいような熱気と湿気に覆われた。事前に調べていた通り、空港前から出ているノンステップ路線バスに乗ろうとして運転手さんに声をかけたがすでに満員に近く、「15分くらいで次のバスが来るから」ということで次のバスに乗って約30分、「石垣港離島ターミナル前」で下車。すぐ目の前にある「ホテルミヤヒラ」にチェックインした。この旅の目的は離島観光である。そのために離島ターミナルの目の前に拠点を置いて過ごすことにしたのだ。バリアフリールームの割には随分と狭い部屋だったが、トイレが使えるのが一番の安心材料。この日は夜になっても29℃。



2日目、離島ターミナル。事前に予約をしておいた竹富島行きフェリーのカウンターに行き、「車いす」であることを告げ、ごく普通に乗船。20分ほどで竹富島に上陸した。竹富島では「水牛車」に乗ることが目的であった。ネット

で得た情報のとおり、島の中心部までの送迎には予約なしでもリフトカーを用意してくれ、水牛車にはすぐ急なスロープが用意され、少し待ったくらいで他の観光客と同じように島を楽しむことができた。この日は33℃。



3日目も、離島ターミナル。鳩間島を經由して約1時間、人生まさかの西表島へ。マングローブのジャングルクルーズや海を渡る水牛車が有名だが、どちらも電動車いすは無理、ということで、とりえず上陸だけを目的にして、港近くでランチを食べてあたりを散歩し、ポケモンのサニーゴを捕まえて石垣島に戻った。西表山猫には会えなかったが、海のレ

ジャーを楽しむ若い人がたくさんいた。夕食は3晩とも、ホテルからほど近い石垣島の繁華街で、テレビおでんや、完熟マンゴーや、石垣牛ステーキ等を頂いた。この日も33℃。

八重山諸島をちょっとだけ離島めぐりであったが、車いす用のトイレは要所要所に大抵あって、この旅を通してトイレで困ることはなかった。

4日目、帰路。予約していた車いすタクシーで石垣空港へ。JALのCAさんは朝早く羽田から飛び立ってとんぼ帰りであるそうで、「石垣島にはまだ行った事がないんです」と羨ましがっていた。

帰ってきてからの夫の感想「楽しかったね。また行ってもいいよ」。私の感想「この次はヘルパーも一緒に行ってもらおうかな」。4日間の一人介助に、ちょっとだけお疲れしたのであった。(佐藤真理子)

7月の外出企画 ねぶたの時期の青森を味わおう!!

7月下旬、何ヶ所かの候補の中から自分たちで選び、ねぶたでじゃわめぐ(ゾクゾクする)新町にランチを食べに行ってきました。

参加希望が多く、二日に分けて行くことになり、初日はパサージュ広場でした。各店舗が思いの外バリアフリーでしたが、あえてアジアの屋台感を味わうために外のテーブルで。穏やかな天気心地よい風の中のランチになりました。

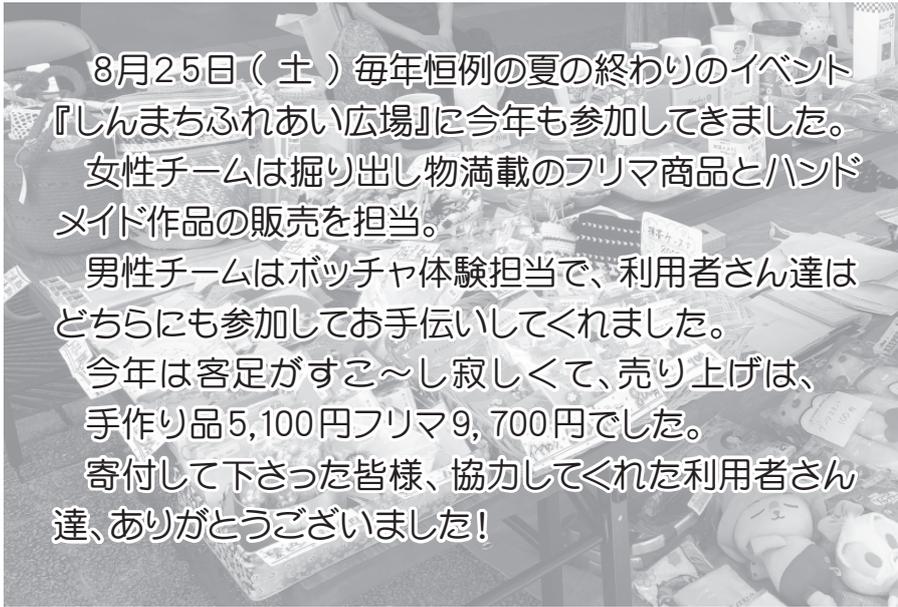
第二段は朝から天気が不安定で、出掛けに小雨が降ったものの、「このまま行きたい!!」という要望があり向かったパサージュ広場がまさかの「臨時休業」の嵐。雨も強くなってきたので隣の戸屋でランチすることに。メニューの充実さに驚きつつクーラーの効いた所で歓談しつつ美味しいランチになりました。

いきなりステーキは入り口の段差もなく、店内のテーブルも車椅子でも丁度良く、注文もランチの場合は着席でかつスタッフが席まで持ってくるシステムなので、ひとりで車椅子で来ても安心です。

念願だった二人は熱々のステーキで大満足してました。



2019 しんまちふれあい広場報告



8月25日(土) 毎年恒例の夏の終わりのイベント『しんまちふれあい広場』に今年も参加してきました。
 女性チームは掘り出し物満載のフリマ商品とハンドメイド作品の販売を担当。
 男性チームはポッチャ体験担当で、利用者さん達はどちらにも参加してお手伝いしてくれました。
 今年は客足がすこ〜し寂しくて、売り上げは、手作り品5,100円フリマ9,700円でした。
 寄付して下さった皆様、協力してくれた利用者さん達、ありがとうございました!



ポッチャ体験中

職員研修報告

福祉サービス苦情解決関係者等研修会

9月30日(月) 青森県社会福祉協議会 青森県運営適正委員会が主催の社会福祉事業者の苦情解決体制について理解を深めると共に、事業者段階における苦情解決能力を高める目的にて開催された福祉サービス苦情解決関係者等研修会へ参加してきました。

主催者発表では、参加者が462名と県内では大規模の研修となりました。

スタジオとまどを利用されている方々も多少なりとも不満をお持ちの方がいると思います。

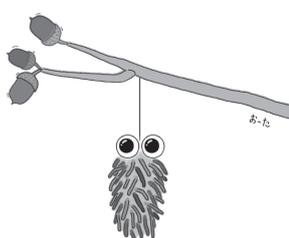
苦情とは、不満を表明する事をいいます。

不満とは、こうであって欲しい・こうして欲しいという期待と現実のサービス・対応などとのギャップによって生じるものです。

利用者と事業者間のコミュニケーション不足、お互いの意思や心情・思慮の伝達不足によることが苦情の原因となります。

苦情の解決方法として特別な手法は必要なく、丁寧な説明・当人との話し合いをもって、お互いに納得できる解決を目指します。

今までもスタジオとまどでは、実際に行われていたと思います。



スタジオとまどでの苦情対応窓口者は佐藤真理子となっておりますので不満や困りごと、言いたい事がある際には、お気軽にご相談ください。

(須藤 拓也)

助成金の御礼

マックスバリュ東北(株) 2018年度黄色いレシートキャンペーン助成金として、スタジオとまどの活動に対し100,400円をご寄付いただきました。
 用途につきましては別途報告いたします。
 ありがとうございました。

お知らせ

忘年会

場 所 青森国際ホテル レストラン kukka
 時 間 12月7日(土) 17:00~19:00
 2次会 フェスタ・ミュゼ(別館5F)
 19:00~20:40 (詳細は後日)

編集後記

- ボールを前に落とすと、ノックオンだ。(広)
- 東京パラリンピックのチケット抽選で申し込んでいた四競技全てに、落選。ガッカリした。一般購入にでも申し込むか…。(s.s.)
- 東京パラリンピックのチケット抽選販売に申し込んだんだけど当たるかな? 自国開催はなかなかないから現地まで見に行きたい!(K)
- 車いすサッカーに長いことボランティアで来てくれていた方が焼き鳥屋さんのおやじになった。青森市長島“焼き鳥はまちゃん”美味しいよ。(M)
- 自宅玄関のフローリングにタイヤを放置していたらタイヤの品番までハッキリ分かる黄染みができて、床が凹んでいた…退去する時が怖い。(S・T)
- サンセベリアの子株が8月の1カ月で29cm伸びた。驚きだ。(A)